

令和5年7月7日研究公開報告

令和4・5年度県教育委員会指定研究公開

垂水市立垂水中央中学校で

「学校における教育の情報化」についての研究公開が開催されました。

令和5年7月7日（金）に、垂水市立垂水中央中学校にて、県教育委員会指定「学校における教育の情報化」研究協力校の研究公開が行われました。垂水中央中学校は、研究主題を「主体的に学び、考えを深め合う生徒の育成～ICTを活用した指導法の工夫を通して～」と設定し、2年間実践的な研究に取り組んでこられました。当日は、生徒たちの学びの姿で、本研究の成果と、1人1台端末・クラウド環境などのICT活用における可能性を実感でき、参加者にとって大変参考になるものとなりました。



【閉会のあいさつ】
亀山 浩一 校長

【研究発表】

垂水中央中学校は、学校内の様々な教育活動において、ICT機器を効果的に活用することを目指して、授業改善、生徒指導及び生徒会活動充実、業務改善の3つの視点で、研究を進めてこられました。日々の研究実践を一つ一つ積み重ね、全職員が一体となって研究を推進し、その研究の概要と成果を研修係の西村八郎先生が発表されました。



研究発表の様子

【公開授業：第2学年 道徳】

主題名「本当の友達」

本時では、生徒が信頼し合える本当の友達はどんな友達かを真剣に考えていました。その際、Jamboardを用いて、グループで意見を共有したり、整理したりしたことを基に、議論し、自分の考えを深めるなど、ICT機器の効果的な活用を図っていました。



公開授業の様子

【公開授業：第1学年 国語科】

単元「【思考のレッスン】意見と根拠」

本時では、生徒が同じ根拠から違う意見が導かれる身近な題材を基に、根拠と意見をつなぐ理由を意欲的に考えていました。その際、前時の振り返りや例題の確認ではパワーポイントを、個々の考えの共有ではロイロノートを用いるなど、ICT機器を効果的に活用していました。



公開授業の様子

【公開授業：第3学年 学級活動】

題材名「あなたの『働く理由』って？」

本時では、生徒が働く上で大切にしたい価値観について、熱心に意見交換をしていました。その際に、Jamboardのシートを、グループで見返したり、整理したりして、価値観の交流を行い、自分の考えを深めていました。ICT機器が効果的に活用されていました。



公開授業の様子